

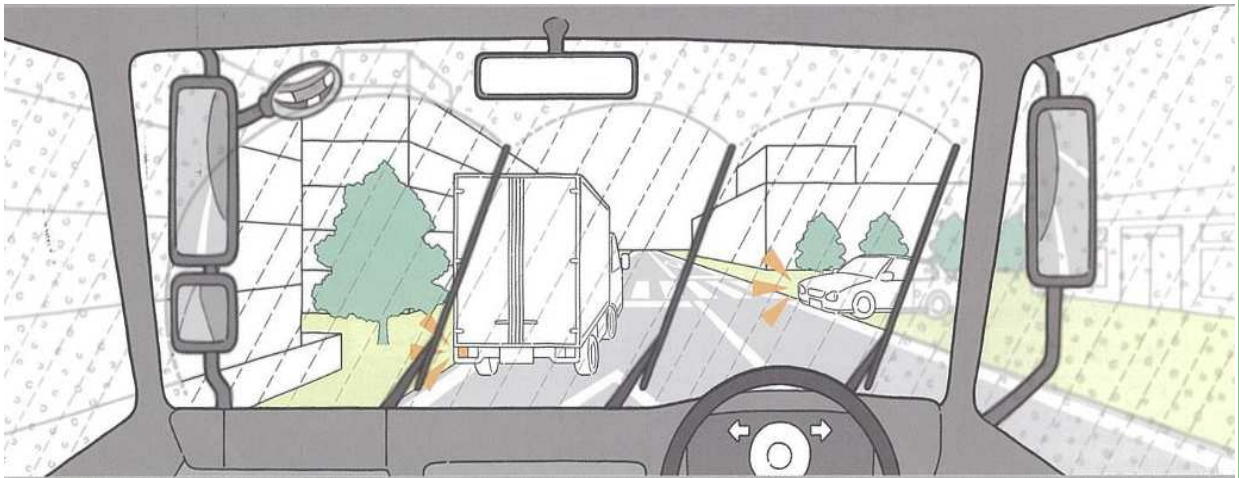
今月のKYT（危険予知トレーニング）

- ◆ 雨が降る中、片側1車線の道路を走行しています。
 - 横断歩道の近くに差しかかりました。
 - 前方には左に方向指示器をつけたトラックが停車しています。
 - 右側の路外施設から乗用車が道路に出ようとしています。
 - 自車はこのまま進行したいのですが……。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q どのような危険がありますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名

1

.....

2

.....

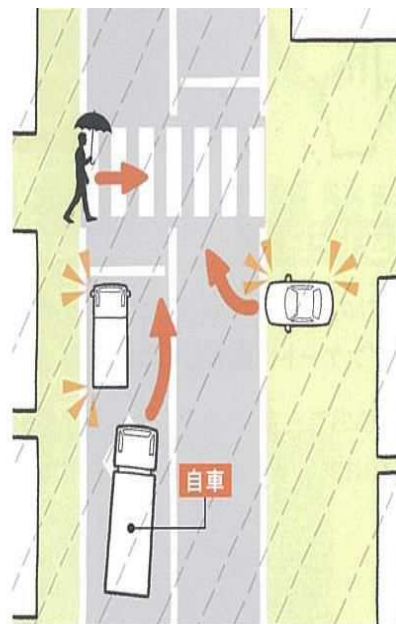
3

.....

このような危険が!

- ✓ 停車車両※の死角により横断歩行者の発見が難しく、衝突につながる。
- ✓ フロントガラスの左端は、ワイパーで水滴を拭き取れず見えづらくなっている箇所がある。
- ✓ 右側の路外施設から出ようとする車に対し、「自転車の前に来るかもしれない」と注意がされると、横断歩行者の発見が遅れる。
- ✓ 傘をさしている横断歩行者は視線が下向きの場合が多く、加えて雨音により周囲の危険に気づきにくい。

※道路交通法では、横断歩道や自転車横断帯の端から前後5m以内は駐停車禁止になっています。



このような運転を!

- ✓ 制限速度を守った上でいつでも止まれるように。
- ✓ 雨が降ると視界が悪くなるため、速度を落とし、しっかりと周囲を確認できる時間と心の余裕を持つ。また歩行者などへの泥はねにも注意すること。
- ✓ 横断歩道に接近する時は、そこを渡る歩行者を予測。信号機のない横断歩道には、手前にひし形のマークが路面に標示されている場合もある。

… memo …

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々 KYTを行い、危険感受度を高めて防衛運転に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。